

キャンプ場新料金（案）及び手ぶらキャンプ導入事業（案）等 に関するパブリック・コメント募集結果について

キャンプ場新料金（案）及び手ぶらキャンプ導入事業（案）等について、1月10日から1月31日にかけてパブリック・コメントを実施した結果「4名 7項目 18件」のご意見をお寄せいただきましたので、それらの要旨と意見対応について公表します。（内4項目4件を広報で掲載）。

ごみ回収について

Q ごみを回収することについては時代の流れに逆行している考え方だと思う。町外利用者が多いのでごみの分別されないことが不安。環境が悪くなり住民の苦情が出てくると思う（悪臭・ごみステーション以外に放置・カラス被害）。ごみ分別・収集の人件費も掛かってくる。

A 平成29、30年度に実施したアンケート調査の結果から「ごみを回収してほしい」との声が多く利用促進を目的として実施することとしました。ごみの分別や、環境悪化に関しましては、受付と同時に袋と分別の記載をしたリーフレットを手渡すことで利用者には理解していただき、ごみステーションの近くに自動照明等を設置することで周りに捨てられないように努めていきます。分別・収集の人件費に関しましては、それに対応できるように料金改定をしております。

チェックイン・チェックアウトについて

Q チェックイン・アウトの時間を変更したことによってぬくもりに入浴する方が多くはならないと思う。また、町内の飲食店で昼食をしてもらえる、食材の購入をしてもらうというが、ほとんどの利用者が食材を持参し用意してくる。

A アンケート調査を行った結果、チェックイン・チェックアウトの時間の見直しを求める意見が多くありました。ぬくもりの湯はキャンプに来られた方々に多くご利用いただいておりますので、チェックイン・チェックアウトの時間を変更した際には、入浴できる時間の選択肢が広がると思っております。また、道の駅を中心とした回遊交流事業を推進するため、地場産品の食材をお買い求めいただいたり、レストラン等で食事を楽しんでいただいたりできるように、キャンプ場からもたくさんの情報を発信していきます。

B BQについて

Q 炉の利用者のほとんどは、夜20時まで利用するのが多く、管理人は夏時間でも18時までしか常駐していないため、ごみ処理、レンタルの網等の処理はどのような対応になるのか。

A 両キャンプ場のごみの処理は、管理人の方の見回り時に捨ててもらいます。レンタルの網や鉄板については利用者に洗っていただき、返却していただきます。

手ぶらキャンプについて

Q 町営キャンプ場は営利目的ではないので年間1～3組に定める必要なし。貸出用具・それらの管理をする人件費がかかり過ぎ。

A 手ぶらキャンプに係る用具代や人件費は掛かりますが年間200組を想定しており、使用料で対応できるようになっております。また道外や外国人観光客（インバウンド）、キャンプ初心者の方でも道具を買うことなく気軽にキャンプの楽しさを味わっていただく事業となっています。安平町に訪れてもらい町内を回遊していただきたいというのが目的です。

意見の数が多いことから、広報では一部を紹介し、その他の意見に関しては、町ホームページ内「パブリック・コメント」及びあびらチャンネルデータ放送、また、両庁舎にて閲覧できます。

URL <https://www.town.abira.lg.jp/gyousei/public/1288>

問合せ 建設課土木・公園グループ ☎ 29 7075



パブリック・コメント
QRコード